

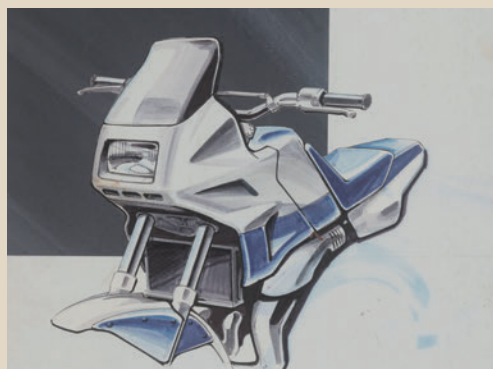
TDR250

1988年 / 市販車

ファラオラリーは、1982年から1996年まで開催されたアフリカ大陸北端のエジプト砂漠を11日間で約4,800km 走行する過酷なラリーレースで、パリ・ダカールラリーの前哨戦と位置づけられていた。

1987に出場した TDR250プロト車はクラス優勝を果たし、そのポテンシャルの高さはTDR(Twin Dirt Racer) の名に相応しく、TZR250(2XT) の2ストローク並列2気筒249cc 45ps 9,500r/min エンジンをベースに開発され、車両重量134kg によってオフロード、オンロードを問わず、力強い加速力と軽快な取り回し感覚が魅力であった。

同じラリーマシンでも、大排気量の Tenere とは違い、250cc クラスならではのコンパクトで人間のサイズ感にマッチしたライディングエリアのフィット感を目指した結果、排気チャンバーの取り回しの処理が課題となり、様々なレイアウトが検討された。最終的には排気ポート前方で2本のチャンバーが腕組みするようなレイアウトを採ることで、十分な性能を確保しつつ、ライディングエリアのスリムかつポジションの自由度の高いデザインが可能となった。



COMMUNICATION
P L A Z A